

全管連第57回通常総会・全国大会開催地 開催日 平成29年7月12日(水)

岩手 IWATE ~絆ふかまる イーハトーブいわて~

岩手の魅力や観光地をご紹介します

全管連の通常総会・全国大会は全国各地の会員が一堂に会し親睦を深め、情報交換を行う最大の機会です。第57回目となる平成29年度は、7月12日(水)に岩手県花巻市で開催されます。

岩手県の県土は15,275km²と北海道に次ぐ全国第2位の面積を有し、四国4県に匹敵する広さですが、89%が森林原野で占められ耕地が少なく山間部の多い県です。県の西部は、秀峰岩手山がそびえる那須火山帯の奥羽山脈が走っており、秋田県と境をなしています。東部は、早池峰山を主峰とする北上山地があり、沿岸部に接しています。

県の中央部は母なる北上川(日高見川)が幾多の支流を集め、今は治水ダムが出来たため水害もなく、175.9kmの流れの旅をし宮城県石巻湾に注いでいます。

その流域に耕地が拓け、稲作地帯が広がる農業県で人口は128万人となっています。本誌では開催地・岩手県の魅力をお伝えしていきます。

全管連 東北ブロック

(青森県・岩手県・宮城県・
秋田県・山形県・福島県)

・所在地 岩手県花巻市下小舟渡
540番1

(花巻市上下水道協同組合内)

・電話・FAX 0198(22)4747

岩手県管工事業協同組合連合会のあゆみ

設立 昭和61年 6月20日
構成員 8組合 160名(平成28年
10月現在)
予算額 13,000千円(平成28年5
月現在)

岩手県管工事業協同組合連合会

・会長 佐々木 英樹
・副会長 和田 勝司
・副会長 伊藤 良一
・役員等 理事16名 監事2名

業務内容

(1)事務執行体制

平成13年4月1日から事務の委託事業を廃止し、連合会独自の事業を本格的に展開するため専任の事務局員1名を採用し「岩管連だより」の発行並びに研修会、講習会等諸事業の開催を積極的に実施している。

(2)会計経理事務

事務所独立当初から会計・経理事務が職員1名での単独処理は好ましい体制ではないので、事務局において収支の伝票

起票、現金出納簿、銀行出納記録簿を作成し、証拠書類と一緒に毎月会計事務所に提出し、審査を受けるなど第三者のチェック体制を導入し、電算入力のうち、毎月元帳、試算表を作成して会計、経理の適正化を図っている。

(3)事業

(ア)情報提供事業

全国管工事業協同組合連合会からの情報伝達、岩管連だよりの発行。全管連ニュースの配布。

(イ)研修事業

研修事業	内容	期間	開催場所
配水用ポリエチレン管施工技術研修会	東日本大震災の体験から地震に強い配管材の使用が注目されてきており耐震性のある【ポリエチレン管】について性能ならびに施工技術を学習することを目的として開催する。	28年6月中 (1回1日間)	県内 3ヶ所
技術研修会	給水装置工事に従事している技術者を対象とし、水道法並びに技術理論を中心に資質向上(給水装置工事主任技術者試験受験準備)を目的とした研修を行う。	28年7月 下旬～8月中旬 (2日間)	県内 3ヶ所
配管技能者研修会	配管技能士の養成(技能検定試験受験準備)を目的として技能者に対し実技実習を含めた研修を行う。	12月下旬～ 1月中旬 (2日間)	県内 3ヶ所
住宅配管システム研修会	建築設備の高度化、近代化に伴って使用する機械器具が日進月歩進化しておりこれに対処するため我々配管工業界として一層の知識の習得と技術の向上を図る目的として開催する。	10月～11月 (1日間)	県内 3ヶ所
下請取引適正化研修会	建設業関連法規並びに下請適正ガイドラインを学習し、親事業者と下請事業者間の望ましい取引関係の構築を図るため開催する。	平成29年1月 (1回1日間)	県内 3ヶ所
給水装置工事配管技能検定会	水道法令に定められた「技能を有する者」の技術向上を図るとともに技能の検定を行うため全管連委託事業として行う。	6月17日(金) (1日間)	岩手産業文化センター(アピオ)

〈記念旅行の主な見どころ〉

● 記念旅行宿泊先（ホテル志戸平）

ホテル志戸平

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平
TEL 0198-25-2011

● 記念旅行行程

◎ 1日目

(1)世界遺産【平泉】を訪ねて

平安末期、前九年、後三年の合戦と長い悲惨な戦いがあり、初代藤原清衡は敵、味方の区別無くすべての霊を慰め仏の教えによる平和な理想社会の実現のため『中尊寺』『金色堂』を建立し、二代基衡は『毛越寺浄土庭園』を造園、三代秀衡は『政庁柳御所』を造営して藤原三代にわたり100年間戦争のない平和な社会が続いた。その後、源氏の内紛に巻き込まれ鎌倉方の攻撃を受け滅亡へと追いやられた。この奥州藤原氏が築いた浄土思想に基づく黄金時代、仏国土の遺産群を人類の共通の宝として平成23年世界遺産に採択されました。

(2)震災復興状況の視察

平成23年東日本で発生した津波を伴う大震災は、岩手、宮城、福島沿岸地



域に甚大な被害を与え、岩手県では死者5,127名、行方不明者1,126名となった。なかでも、岩手県は陸前高田市、宮城県は南三陸町、福島県は原発被害と被害が多く今、復興に向け懸命の努力を傾注しているところでもあります。陸前高田市の市街地は全壊し、6万本の松林も津波により倒木し、奇跡的に1本が被害を免れ「奇跡の一本松」として復興のシンボルとなっています。旧市街地はかさ上げの盛土もほぼ完成し、整地作業が行われています。

◎ 2日目

(1)松島巡り

海に囲まれた国、日本の持つ海の青、松の緑が対照的におりなす絶景、天が我々に与えた自然の恩恵の景勝地『安芸

の宮島』『天の橋立』と共に日本の三景として楽しまれている『陸前松島』は湾内に250余の島があり、こんもりとした松が茂り、清々した姿は絵のように美しい。この優雅な景観を存分に鑑賞ください。

(2)瑞巖寺

臨済宗青龍山瑞巖寺は、平安の初期、慈覚大師により開創され当初は天台宗延福寺と称していたが、江戸時代に入り仙台62万石の城主伊達政宗が大伽藍などを寄進し東北の大禅刹の『瑞巖寺』となり現在に至っています。

●記念ゴルフ大会

盛岡南カントリークラブ

〒028-3121 岩手県花巻市石鳥谷町戸塚
2-13-1
TEL 0198-45-5681

のびやかで個性豊かな各ホールは常に最良のコンディションが保たれ、さまざまな表情を見せてくれます。

自然とのバランスや戦略性を大切に、スコアメイクにチャレンジできる構成で、トーナメントコースです。



盛岡南ゴルフ倶楽部

MORIOKA MINAMI GOLF CLUB

